
It's Beautiful Days !

御鏡 明楽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

I t ' s B e a u t i f u l D a y s !

【Nコード】

N 5 3 3 3 B A

【作者名】

御鏡 明楽

【あらすじ】

春、高校入学。そこで、楽しい日々が始まる。っと思っていたのだが、何の間違いか、入学早々告白されてしまう!?
普通な主人公と美人な彼女とのある意味楽しい日々が始まる。かもしれない。

ブローグ

冬が終わり、春の気配が近ずいてきた。

高校入学を機に、一人暮らしをすることになった。弱肉強食の受験戦争を勝ち抜き、入学した私立光明高校は、自分で言うのもなんだが一応有名高校である。僕が、こんな高校に合格できたのは、ここ数ヶ月の壮絶な受験勉強のおかげだろう。ほんつとくに、大変だった。もう、受験が終わって、真っ白に燃え尽きたね！だって、一生分勉強したんじゃない？くらい勉強したんだもん。まあ、もつとやってる人もいるんだろうけど・・・。

当たり前だが、一人暮らしでは家事は、自分でしなくてはならない。しかし、寝坊したらどうしようとか、自分で料理を作らないといけないとか、問題は山積みだがそれよりも、明日の入学式のことですごくばいだし！ここ、地元じゃないから一人も知り合いがいなし・・・。まあ、なるようになるさ。今日は、明日に備えてもう寝ようかな。まだ、10時だけど。

ブログ（後書き）

短くてすいません。次からはもうちょっと長くなる予定です。
暇つぶし程度に読んでもらえれば幸いです。

第一話「僕って、ツッコミ気質なのかな？」

ついにやってきた、入学式！いつもより30分早く目が覚めてしまった。だからだと校長が話した後、自分の自分のクラスに向かった。僕は3組だそう。当たり前だが知っている人は誰もいない。席に着き、教室を見回していると茶髪のチャラそうな男子生徒が話しかけてきた。

「よう！俺、宮沢幸樹っていうんだ。よろしく！」

驚いたことに普通に自己紹介してきた。僕はてっきり、お？いい財布持ってたんじゃないか。くれよ？は？中身も一緒にもらうに決まってるんじゃないか！とか言われるのかと思った。

「僕は、紫苑寺海斗。最近、ここら辺に引っ越してきたんだ。よろしく。」

こういうのは、第一印象が大切だと思う。

「おお、そうか！じゃあ、俺がこの街を案内してやるよ！」

「ありがとう。じゃあ、お願いするよ。」

チャラそうに見えて親切なやつだな・・・

いろいろ話してるうちに先生がやってきた。

「全員席に座れ！」

いかにもだるそうな声で言ってきた。生徒が全員席に座ると、

「えゝ、何言うんだっけか？」

「忘れるなよ！」

やばっ！思わずツッコんでしまった。

「いいツッコミだ。えゝと、誰だっけ・・・まあいいか。」

「よくないよ！」

またツッコんでしまった・・・みんな、すっごい笑っている。すごく恥ずかしい。

「いいツッコミも見れたところで、改めて、入学おめでとう。高校

は、義務教育じゃない。弱肉強食の世界だ。勉強しない奴はどんどん置いてかれるぞ？」

なぜかとてもリアルなことを言われた。教室が静まり返ると、

「なんて脅してみたけど、驚いたか？」

「脅すなよ！」

僕がツッコむと、クラスメイトから、そうだそうだ！など声が上がった。僕って、ツッコミ気質なのかな？でも、なんか楽しそうなクラスだったのでほっとした。

ホームルームも終わり、全員が帰ろうとしていると、幸樹が話しかけてきた。いや、呼び捨てにしているのは、最初、幸樹くんって言ったら、呼び捨てでいいって言われたからなんだからね！

「じゃあ、約束通り俺が街を案内してやるよ！」

「そういえばそうだったな・・・」

「・・・うん。お願いするよ。」

「お前、忘れてただろ？まあいいや、そういえば知ってるか？この学校すごい美人な先輩がいるんだってよ。」

「そりゃ、どこの学校にも美人な先輩くらい、いるんじゃないの？」

「そうなんだけどな、その先輩は、告白されても全員フツてるらしいぜ？」

「へー。なんでだろ？」

「さあな？美人の考えることなんて、わかんねえし。」

「たしかにね。」

などと雑談しながら昇降口で自分の下駄箱の中を見ると、

『校舎の裏に来てください。』

と、書いてある手紙が入っていた。

下駄箱の中に手紙って時代遅れじゃない？

第一話「僕って、ツツコミ気質なのかな？」（後書き）

ちょっと違うところに反応している主人公でした。

読んでくださってありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5333ba/>

It's Beautiful Days !

2012年1月14日21時46分発行